

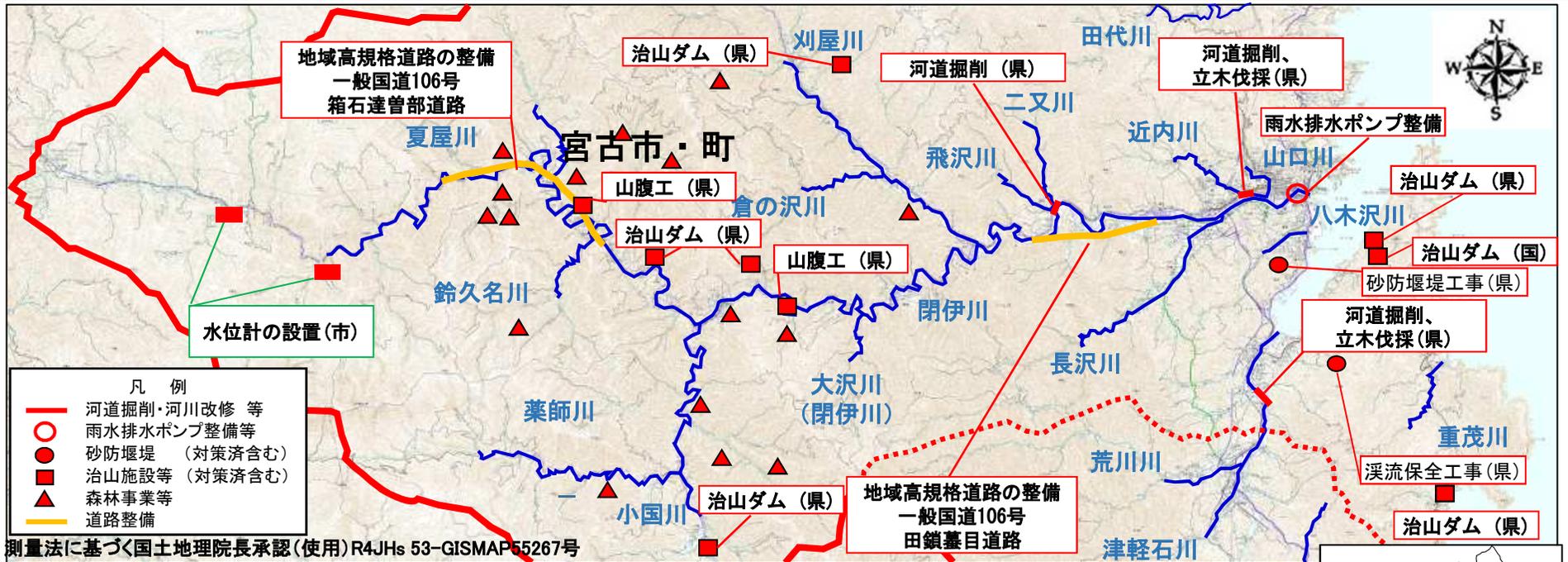
○平成28年台風10号、令和元年東日本台風では、各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、宮古山田圏域において事前防災対策を進める必要があり、圏域内河川の河道掘削等により、洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林整備、道路の整備や避難のためのソフト対策に取り組み、流域が一体となり浸水被害の軽減を図る。



○平成28年台風10号、令和元年東日本台風では、各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、宮古山田圏域において事前防災対策を進める必要があり、圏域内河川の河道掘削等により、洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林整備、道路の整備や避難のためのソフト対策に取り組み、流域が一体となり浸水被害の軽減を図る。



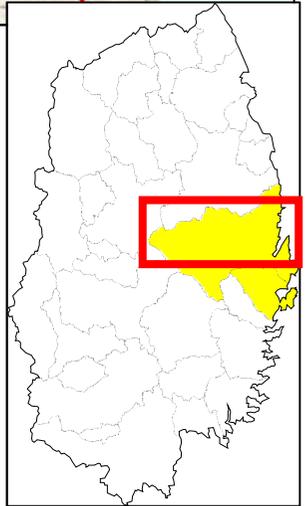
○平成28年台風10号、令和元年東日本台風では、各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、宮古山田圏域において事前防災対策を進める必要があり、圏域内河川の河道掘削等により、洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林整備、道路の整備や避難のためのソフト対策に取り組み、流域が一体となり浸水被害の軽減を図る。



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 災害リスク情報の充実**
- ・雨量、水位、土砂災害リスク情報の提供【県・市】
 - ・防災情報の多様化【市】
 - ・携帯電話不感地帯の解消【民間】
- 避難体制等の強化**
- ・ハザードマップ、タイムラインの作成【市】
 - ・要配慮者利用施設の避難訓練の促進【民間】
 - ・避難所機能の向上【市】
 - ・防災士の養成など地域防災力の向上【市】
 - ・命の道となる地域高規格道路の整備【国・県】

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 洪水氾濫対策**
- ・二級河川の河道掘削【県】
 - ・準用河川、普通河川の河道掘削【市】
- 内水氾濫対策**
- ・雨水排水ポンプ整備【市】
 - ・排水路整備、道路嵩上げ【市】
 - ・排水ゲートの自動化【県】
- 土砂災害対策**
- ・砂防施設の整備、治山対策【国・県】
 - ・森林整備【国・県・市・森林整備センター】

- 被害対象を減少させるための対策
- 水災害ハザードエリアにおける土地利用、住まい方の工夫
- ・宅地嵩上げ【市・民間】



○平成28年台風10号、令和元年東日本台風では、各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、宮古山田圏域において事前防災対策を進める必要があり、圏域内河川の河道掘削等により、洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林整備、道路の整備や避難のためのソフト対策に取り組み、流域が一体となり浸水被害の軽減を図る。



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 災害リスク情報の充実**
- ・雨量、水位、土砂災害リスク情報の提供【県】
 - ・防災情報の多様化【市・町】
 - ・携帯電話不感地帯の解消【民間】
- 避難体制等の強化**
- ・ハザードマップ、タイムラインの作成【市・町】
 - ・要配慮者利用施設の避難訓練の促進【民間】
 - ・避難所機能の向上【市・町】
 - ・防災士の養成など地域防災力の向上【市・町】

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 洪水氾濫対策**
- ・河川改修【町】
 - ・二級河川の河道掘削【県】
 - ・準用河川、普通河川の河道掘削【市・町】
- 内水氾濫対策**
- ・雨水排水ポンプ整備【市】
 - ・排水路整備、道路嵩上げ【市】
 - ・排水ゲートの自動化【県】
- 土砂災害対策**
- ・砂防施設の整備、治山対策【国・県】
 - ・森林整備【国・県・市・町・森林整備センター】

凡 例

—	河道掘削・河川改修 等
●	砂防堰堤 (対策済含む)
■	治山施設等 (対策済含む)
▲	森林事業等
●	道路整備